



大分県議会議員 2024年 冬号
県民クラブ会報「県民ひろば」別府市版

原田たかし 会報

教育・福祉・労働

子どもたちが「生まれてきてよかった」、
 高齢者の方々が「長生きしてよかった」と
 思える社会を実現するために。

大分県議会議員 原田 孝司

発行責任者：大分県議会・県民クラブ 原田孝司

連絡先：別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所 TEL・FAX 0977(25)0011 E-Mail harada@ctb.ne.jp

物価高対策と国土強靱化に注力 原田、一般質問に登壇 ～大分県議会第4回定例会～

皆様方には、健やかに新年を迎えられたことと存じます。本年がよい年になりますように御祈念いたします。

さて、大分県議会2023年第4回定例会が11月27日(月)から12月13日(水)にかけて開催されました。

開会日に提案されたのは、県職員や知事・県議の給与や報酬などを引き上げる条例の一部改正案、ホーバークラフトのターミナルを設置する条例制定案、パトカーとの衝突事故で重い障害を負った男性への和解案などでした。

また、国の補正予算が11月29日(水)に成立したことを受けて、12月4日(月)には総額358億円3,650万円（累計7,796億7,201万円）の一般会計補正予算案（12月補正）が提案されました。

内容は、物価高対策に計23億4千万円。LPガス利用者に対し1契約当たり1,500円を助成。燃料の高騰で経営が厳しい乗合バスやタクシーへ燃料費の一部を補助する事業を来年4月末まで延長します。

また、飼料の値上がりや子牛価格の下落に苦しむ牛の繁殖農家への緊急支援。人材確保が厳しい介護職員や看護補助者の賃金引き上げ経費として月額6千円を助成。

補正の大半を占める国土強靱化関連（285億9,360万円）では、緊急輸送道路の整備や砂防ダムの建設、ため池の耐震化などを進めます。

最終日に全て原案通り可決されました。

12月5日(火)、原田は一般質問に登壇しました。【2・3面に掲載していますので御覧ください】

2024年は飛躍の年に！ ～様々なイベントが目白押し～



さて、本年は別府市や大分県内で様々なイベントが予定されています。

まず、「別府市制100周年～100年分の『ありがとう』が明日への源泉～」。

4月に記念式典が予定される他、様々な催しが企画されています。別府市では、このまちの大切な価値を見つめ直し、守り、磨きをかける活動と位置づけています。地方創生の大きなきっかけとしたいですね。

また、4～6月には「福岡・大分デスティネーションキャンペーン（DC）～至福の旅！大吉の

旅！福岡・大分～」が行われます。

DCは、開催県とJRグループが共同で開催する大型観光キャンペーンで、2015年に大分県で開催された際には133億円の経済効果があったと報告されています。

さらに、11月には、「第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～」が開催。

大分市グランシアタで記念式典、別府港第4埠頭で海上歓迎・放流行事が行われ、県内各所で海産物の販売も展開されるそうです。昨年11月4日(土)には1年前プレイベントが別府港で開催され、私もマダイの稚魚を放流しました。



折り鶴に込めた願い

原田孝司のシンボルマークは平和を象徴する折り鶴です。背景には、教育・福祉・労働を表現する虹がかかっています。

